



ELECOM

PRUMIE ワイヤレスマウス M-P3DUR シリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム PRUMIE ワイヤレスマウス「M-P3DUR」シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。「M-P3DUR」シリーズは、チルトホイールだけで左右にスクロールできるレーザーワイヤレスマウスです。また、マウスを使用しないときはレーザーユニットをマウス本体に収納できますので、持ち運びにも大変便利です。このマニュアルでは「M-P3DUR」シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったらあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて「M-P3DUR」シリーズを「本製品」と表記しています。

■絵表示の意味

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。
- 注意**
- 「してはいけない」ことを示します。
- 「しなければいけないこと」を示します。
- 「注意していただきたいこと」を記載しています。
- 「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。
- 「知っている」と便利なことを記載しています。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店もしくはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体..... 1個
- レーザーユニット..... 1個
- 動作確認用単3形アルカリ乾電池..... 1本
- ドライバCD..... 1枚
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)..... 1部

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

- 警告**
- 本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときや、本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レーザーユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつかけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レーザーユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品の分解や改造、修理などをご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証対象外となります。
- 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。
- レーザーユニットはぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

- 注意**
- 本製品を次のようなところには置かないでください。
 - 日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
 - 多湿なところ、結露をおこすところ
 - 平坦でないところ、振動が発生するところ
 - マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 - ほこりの多いところ

- 本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■電池について

- 注意**
- 本製品には単3形アルカリ乾電池、単3形マンガン乾電池、単3形オキシライド乾電池、または単3形ニッケル水素電池を使用してください。
- 電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分解したりしないでください。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

- 本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式には DS-SS 方式を採用し、干渉距離は 10m です。2.4GHz 帯は、医療機器や Bluetooth、IEEE802.11b/11g 規格の無線 LAN 機器などでも使用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、すみやかに本製品の ID を変更するか、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。
- 「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

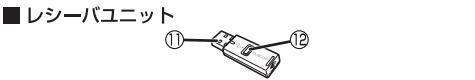
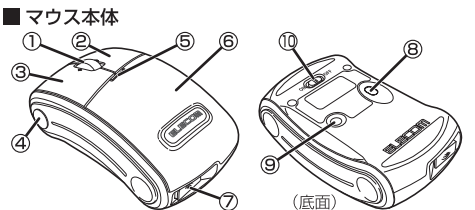
- 警告**
- 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします。
- 本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じた場合、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

レーザーマウスにおける注意事項

本製品は、JIS C6802 及び国際標準化機関 IEC60825-1 に基づいた CLASS 1 に準拠し、安全性を確保しておりますが、下記事項に十分注意した上でご使用下さい。

- 顕微鏡・虫眼鏡等の光学的手段を用いてレーザー光を観察したり、レーザーを肉眼で長時間覗き込むことは、目に悪影響を及ぼす可能性があるため絶対におやめください。(レーザー光には肉眼で見えないものもあります)
- 裏面を人の目に向けたる事は危険ですでおやめください。
- レーザーセンサーはガラスや鏡の表面では正常に動作しない場合があります。
- パソコン用マウス以外の用途に使用しないでください。
- 範囲を超えた気温に製品がさらされる場合は、パソコンの電源を切り、気温が範囲内になるまで製品をお使いにならないでください。
- 正常に動作しない場合は、パソコンの電源を切り、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

各部の名称とはたらき



- ①チルトホイール**
指で前後に回転させたり、左右に倒したり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
※左右スクロール機能を使用するには、付属のドライバCDからPRUMIE マウス用ドライバをインストールしてください。
☞左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する(裏面)

- ②右ボタン**
パソコンの操作の右クリックに使います。

- ③左ボタン**
パソコンの操作の左クリックに使います。

- ④ファンクションボタン(A)**
ボタンを押すと、割り当てた機能を実行します。
※このボタンの機能を使用するには、付属のドライバCDからPRUMIE マウス用ドライバをインストールしてください。
☞左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する(裏面)

- ⑤電池残量表示ランプ**
電池の交換時期をお知らせします。
※電池を入れると約5秒間緑色に点灯します。電池寿命が残り少なくなると赤色に点滅します。

- ⑥電池カバー**
このカバーを開けて、電池を入れます。

- ⑦レーザーユニット収納部**
マウスを使用しないときは、ここにレーザーユニットを収納します。レーザーユニットを収納するとマウス本体の電源が切れ、取り出すと電源が入ります。

- ⑧レーザーセンサー**
マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※レーザーセンサーを直接のぞきこまないで下さい。

- ⑨ID 設定ボタン**
本製品の ID を変更するときに使用します。

- ⑩電源スイッチ**
マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)します。

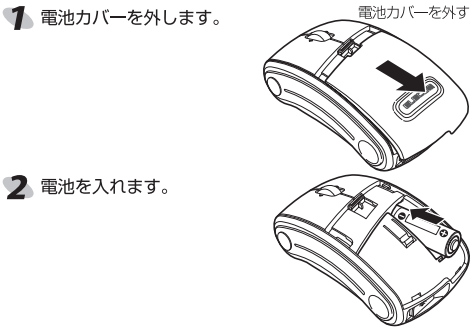
- ⑪USB コネクタ(オス)**
パソコンの USB ポートに接続します。

- ⑫ID 設定ボタン**
本製品の ID を変更するときに使用します。

使用時の準備と収納

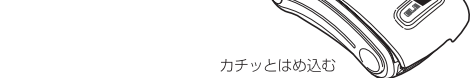
電池を入れる / 交換する

本製品を使用するときは、電池 1 本をマウス本体に入れます。



- 電池のマイナス側からマウス本体に入れます。

- 電池カバーを閉めます。
約5秒間電池残量表示ランプが緑色に点灯します。



マウス本体の電源を入(ON) / 切(OFF)する

- マウス本体の電源を入れる**
本製品を使用するときは、マウス本体の電源を入れます。
電源スイッチを ON の位置にスライドさせます。

- マウス本体の電源を切る**
本製品を使用しないときは、マウス本体の電源を切ることで、電池を節約できます。電源を切る方法は次の 2通りがあります。
 - ・レーザーユニットをマウス本体に収納します。「レーザーユニットを収納する」(下記)を参照してください。
 - ・電源スイッチを OFF の位置にスライドさせます。

レーザーユニットを収納する / 取り出す

- レーザーユニットを収納する**
レーザーユニットの USB コネクタをマウス側面のレーザーユニット収納部の穴にゆっくりと差し込み、カチッと音がするまで押します。
※電源スイッチが ON の位置でも、マウス本体の電源が切れます。

- レーザーユニットを取り出す**
 1. レーザーユニットを軽く押し込み、指を離します。
 2. レーザーユニットが少し出てきますので、指でつまんで取り出します。

レーザーユニットを取り付ける

本製品をはじめてご使用になるときは、次の順でマウスのドライバをインストールする必要があります。

1 Windows 標準マウスドライバをインストールする

2 PRUMIE マウス用ドライバをインストールする

- Windows 標準マウスドライバがインストールされると、本製品が使用できるようになります。ただし、左右スクロールやボタン割り当て機能を利用するには、PRUMIE マウス用ドライバのインストールが必要です。

次の手順でレーザーユニットをパソコンに取り付けます。

- Windows® 2000/98 の場合は、今までお使いになっていたマウスを接続したままにしておいてください。あとの「Windows 標準マウスドライバをインストールする」でマウスの操作が必要になる場合があります。
- 今までお使いになっていたマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを利用している場合は、あらかじめインストールしておいてください。他社製ドライバ(などがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

- 1 パソコンを起動します。
 - ・Windows Vista®, Windows® XP の起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられた場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
 - ・Windows® 2000 の場合は、Administrator の権限をもつユーザーでログオンしてください。
 - ・Windows® が起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

- 2 レーザーユニットをパソコンの USB ポートに差し込みます。

- USB コネクタの向きと挿入場所を十分に確認してください。
 - ・USB ハブ経由でも使用できます。ただし、USB ハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

- 3 このあとは、OS により動作が異なります。
 - ・Windows Vista®, Windows® XP/Me の場合
Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。
 - ・Windows® 2000 の場合
・「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されなかった場合は、Windows 標準マウスドライバが自動的にインストールされます。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。
 - ・「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、Windows 標準マウスドライバを手動でインストールする必要があります。
☞次の「Windows 標準マウスドライバをインストールする」へ進みます。

- ・Windows® 98 の場合
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されず、Windows 標準マウスドライバを手動でインストールする必要があります。
☞次の「Windows 標準マウスドライバをインストールする」へ進みます。

レーザーユニットを取り外す場合

レーザーユニットはホットプラグに対応していますので、Windows® が起動した状態でも取り外すことができます。

- Windows® の起動中に何度も抜き差しをくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合は、Windows® を再起動してください。

Windows 標準マウスドライバをインストールする(Windows® 2000/98 のみ)

Windows® 2000 の一部の環境と Windows® 98 では、レーザーユニットを取り付けたあとにウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、次の各 OS の説明をお読みになり Windows 標準マウスドライバをインストールしてください。

- キーボードでの操作**
Windows® 2000/98 では Windows 標準マウスドライバのインストール時にマウスの操作が必要なことがあります。マウスまたはタッチパッドなどが無いパソコンをご使用の場合は、下記をご覧になり、キーボードを使って操作してください。
Tab : 項目やボタンを移動します。
↑ / ↓ : 項目に選択肢がある場合に、選択肢の間を移動します。
スペース : キーを押すたびにチェックボックスをオン / オフします。
※ 「次へ」 「OK」 「キャンセル」などのボタンを実行したい場合は、「Enter」を押します。

Windows® 2000 で「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合

- Windows® 2000 では、ご使用の環境によってレーザーユニットを取り付けたあとに「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されることがあります。その場合は、「次へ」をクリックし、メッセージにしたがって Windows 標準マウスドライバをインストールしてください。

- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示されなかった場合は、手動でのインストールは不要です。
- インストール途中で、「ドライバファイルの特定」画面が表示された場合は「検索場所のオプション」のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。

- ☞Windows 標準マウスドライバのインストールが完了したら、「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。

Windows® 98 の場合

Windows® 98 では、レーザーユニットを取り付けたあとに「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。次の手順にしたがって、手動で Windows 標準マウスドライバをインストールしてください。

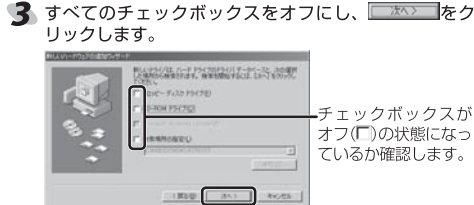
- 「Windows® 98 オペレーティングシステム」の CD-ROM が必要になる場合がありますので、あらかじめご用意ください。
- ・Windows® 98 プリインストールモデルのパソコンの場合
パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。このような表記の CD-ROM が無い場合は、5の②で「ファイルのコピー元」に CD-ROM ドライブを指定する代わりに「C:\Windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
※このフォルダを指定してもインストールが進まない場合は、Windows® 98 標準ドライバファイルの保存先について、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。
※Windows® 98 プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。
- ・Windows® 98 のパッケージをご購入されている場合
パッケージに入っている「Windows® 98」の CD-ROM をご用意ください。

- 1 「次へ」をクリックします。



- 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」をクリックします。

すべてのチェックボックスをオフにし、「次へ」をクリックします。



- キーボードで操作している場合で、[検索場所の指定]のチェックボックスがオフにできないときは、[検索場所の指定]の入力ベースを空白にしておいてください。

- 4 検索するドライバファイルとして「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」が表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

- 5 Windows® 98 CD-ROM をドライブに挿入するようにメッセージが表示された場合は、用意しておいた CD-ROM をドライブに挿入し、「OK」をクリックします。次の②を参照してフォルダを指定してください。

- プリインストールモデルのパソコンをご使用の場合は、次の②を参照してフォルダを指定してください。
- ・Windows® 98 CD-ROM の画面が表示された場合は、画面右上のxをクリックして画面を閉じてください。

- 「OK」をクリックしたあと、「ファイルのコピー」画面が表示された場合

- ①または②のいずれかの方法で「ファイルのコピー元」を指定します。

- プリインストールモデルで Windows® の CD-ROM が添付されていなかった場合は、CD-ROM ドライブのドライバ名の代わりに「C:\windows\options\cabs」フォルダを指定してください。
- ※コピー先の日付が、CD-ROM 内のファイルより新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

- ①ドライブ / フォルダ名を入力する方法
 1. 「ファイルのコピー元」にキーボードで CD-ROM ドライブのドライブ名と「\win98」を入力します。例: CD-ROM を D ドライブに入れた場合
D:\WIN98(小文字でも可)
※ドライブ名に続いて「:」と「\」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。
 2. 「OK」をクリックします。

- ②本製品を「をクリックする方法」
 1. 「ファイルのコピー」画面で、本製品をクリックします。
 2. 「ドライブ」で CD-ROM を入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォルダを選択します。

- ③「OK」をクリックします。
- 4. 「ファイルのコピー」画面の「OK」をクリックします。

- 6 「完了」をクリックします。

- ご使用の環境によっては、「完了」をクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROM を挿入するようにメッセージが表示されることがあります。5と5の②を参考にしてインストール作業を続けてください。

これで、Windows 標準マウスドライバのインストールは完了です。Windows® 98 の CD-ROM を取り出してください。
☞「左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する」(裏面)へ進みます。

左右スクロールやボタン割り当て機能を利用する

左右方向のスクロール機能やボタン割り当て機能を利用するには、PRUMIE マウス用ドライバをインストールする必要があります。

PRUMIE マウス用ドライバをインストールする

- PRUMIE マウス用ドライバをインストールする前に・・・
- レシーバユニットを取り付けておいてください。詳細は、「レシーバユニットを取り付ける」(表面)を参照してください。
 - 当社、他社のマウスユーティリティソフトがインストールされている場合は、アンインストールを行ってください。
 - すべてのWindows®プログラム(アプリケーションソフト)を終了することを推奨します。

1 付属のドライバCDをドライブに挿入します。

- Windows Vista®の場合
- 7.「自動再生」画面が表示された場合は、「SETUP.EXEの実行」をクリックします。



「自動再生」画面が表示されない場合は、「スタート」ボタン(コンピュータ)の順にクリックし、ドライバCDを挿入したドライブをダブルクリックします。(CD-ROMの内容が表示されたときは、「setup.exe」をダブルクリックします。)

2.「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」をクリックします。



ドライバのインストールが2回目以降の場合は、「ユーザーアカウント制御」画面の内容が異なります。「続行」ボタンをクリックします。

- Windows® XP/Me/2000/98の場合
- 自動的にセットアッププログラムが起動します。

セットアッププログラムが起動しないときは、マイコンピュータからドライバCDを挿入したドライブをダブルクリックします。(CD-ROMの内容が表示されたときは、「setup.exe」をダブルクリックします。)

※以降のセットアッププログラムの画面はOSによって異なりますが、手順は同じです。

2 「日本語」が選択されていることを確認し、「次へ(N) >」をクリックします。



3 「次へ(N) >」をクリックします。



4 「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ(N) >」をクリックします。



使用許諾契約の内容をよくお読みください。

5 「次へ(N) >」をクリックします。



インストール先のフォルダを変更する場合は、「参照」をクリックし、インストール先のフォルダを指定します。


6 「インストール」をクリックします。



7 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、ドライバCDを取り出してから、「完了」をクリックします。




「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、手動でパソコンを再起動してください。

パソコンを再起動すると、通知領域(タスクバー)にが表示されます。これでPRUMIE マウス用ドライバのインストールは完了です。

- 「チルトホイールやボタンに機能を割り当てる」を参照し、各機能を設定してください。
- 「スクロールの動作を確認する」を参照し、マウスが正しく動作するかを確認してください。

チルトホイールやボタンに機能を割り当てる

左右スクロールやボタン割り当て機能は、次の方法で「マウスのプロパティ」画面を表示し、設定します。

1 通知領域(タスクバー)に表示されているを右クリックし、表示されたメニューから[ELECOM Mouse Driverの設定]をクリックします。



「マウスのプロパティ」画面が表示されます。


2 お好みに合わせてボタンなど、マウスの設定をします。

- 「ボタン」を選択します。
 - 「機能」を選択します。
- ※選択した機能によっては、「設定」がクリック可能になります。クリックするとダイアログボックスが表示されますので、詳細を設定してください。



※画面をクリックして、ボタンと機能を選択できます。

3 「OK」をクリックします。

- 通知領域(タスクバー)に表示されているを右クリックし、「終了」をクリックすると、PRUMIE マウス用ドライバが終了し、左右スクロール機能やボタン割り当て機能などが使用できなくなります。その場合は、「スタート」ボタンから[(すべてのプログラム) - [ELECOM MOUSE DRIVER] - [ELECOM MOUSE DRIVER]の順にクリックし、PRUMIE マウス用ドライバを起動してください。]

スクロールの動作を確認する

PRUMIE マウス用ドライバが正常にインストールされると、チルトホイールで左右スクロールができるようになります。ここでは、「Windows®の「メモ帳」でマウスのスクロールが正常に動作しているかを確認します。

1 [スタート]ボタンから[(すべてのプログラム) - [アクセサリ] - [メモ帳]の順にクリックします。「メモ帳」が起動します。

2 メモ帳の画面の高さを10行程度表示できる大きさにします。文字の入力と改行をくり返します。
※画面の例では0~9の数字を順番に入力して改行し、最後の行は左右スクロールの確認ができるよう、多くの文字を入力しています。



表示できる行数、文字数を超えるとスクロールバーが表示されます。

3 マウスのチルトホイールを前後に動かします。



指の動きに合わせて画面が上下にスクロールすれば、正常です。

4 マウスのチルトホイールを左右に倒します。



指の動きに合わせて画面が左右にスクロールすれば、正常です。

- スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

■マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

- 使用している場所の光の反射率がレーザーマウスに適していない可能性があります。レーザーマウス対応マウスパッドを使用してください。
- ステール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。
- レシーバユニットがパソコン本体などのUSBポートに正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバユニットをUSBポートから取り外して、接続し直してください。
- レシーバユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。
- 本製品の動作範囲は、レシーバユニットとマウス本体が半径10m以内です。使用環境によっては、約10mの範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。その場合は、動作が安定するところまで、マウスをレシーバユニットに近づけてください。



- 本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。「IDを変更する」を参照し、本製品のID設定を変更するか、他のワイヤレス機器のIDを変更してください。
- レシーバユニットとマウスが異なるIDに変更されている可能性があります。「IDを変更する」を参照し、同じIDに設定してください。
- 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる/交換する」(表面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。
 - 本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消費していることがあります。
 - 電池の残量が少なくなると、電池残量表示ランプが赤色に点滅します。
- マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。

→Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、本製品がWindows®に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、「不明なデバイスの削除方法」を参照し、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

→ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

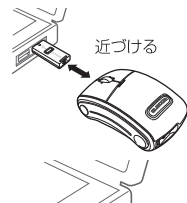
■マウスカーソルは動くが、チルトホイールが動かない

→スクロール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、チルトホイールを操作しても動作しない場合があります。

IDを変更する

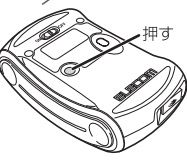
1 レシーバユニットを取り付けた状態で、パソコンの電源を入れます。

2 確実に電波を受信できるように、マウス本体をレシーバユニットに近づけます。



3 レシーバユニットのID設定ボタンを1回押します。

4 10秒以内にマウス本体の底面にあるID設定ボタンを押します。



5 マウスを動かして、カーソルが正しく動くか確認します。カーソルが動かない場合は、2~4を繰り返し、もう一度IDを変更します。

- ID設定を変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

「不明なデバイス」の削除方法

Windows 標準マウスドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイス マネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、「レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直してください。

- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットを一度パソコンから取り外してみて、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

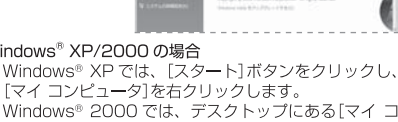
レシーバユニットをパソコンに接続した状態で、次の手順に従って「不明なデバイス」を削除してください。

1 デバイスマネージャを表示します。

- Windows Vista®の場合
- [スタート]ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックします。
 - [プロパティ]をクリックします。



3.「デバイス マネージャ」をクリックします。



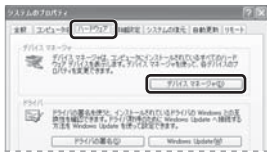
- Windows® XP/2000の場合
- Windows® XPでは、[スタート]ボタンをクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックします。Windows® 2000では、デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。

2. [プロパティ]をクリックします。
※画面例はWindows® XPの場合

3. [ハードウェア]タブをクリックします。

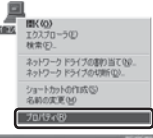


4. 「不明なデバイス」をクリックします。



•Windows® Me/98の場合

- デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
- [プロパティ]をクリックします。



2. [デバイス マネージャ]画面が表示されるので、「不明なデバイス」を右クリックし、「削除」をクリックします。



3. 「OK」をクリックします。

4. レシーバユニットを取り外し、パソコンを再起動します。

5. 「レシーバユニットを取り付ける」(表面)からやり直します。



PRUMIE マウス用ドライバのアンインストール方法

PRUMIE マウス用ドライバを再インストールする場合は、いったんPRUMIE マウス用ドライバをアンインストールしてください。

1 [スタート]ボタンから[(すべてのプログラム) - [ELECOM MOUSE DRIVER] - [MOUSE DRIVERのアンインストール]の順にクリックします。

2 画面の指示に従って、アンインストールを完了させます。

基本仕様

| | |
|------------|--|
| 製品名 | PRUMIE ワイヤレスマウス |
| 製品型番 | MP3DUR シリーズ |
| 対応 OS | Windows Vista, XP, 2000, Me, 98 |
| カウント数 | 800 カウント |
| 対応インターフェイス | USB |
| 電波周波数 | 2.4GHz 帯 |
| 電波方式 | DS-SS 方式 |
| 電波到達距離 | 非磁性体上(木の机など): 約 10m 磁性体上(鉄の机など): 約 10m ※当社環境でのテスト値 |
| 本体寸法 | W55.6 × D93.9 × H 37.7 mm |
| レシーバユニット寸法 | W15.6 × D46.1 × H 6.6 mm |
| 本体重量 | 76.9 g(電池含まず) |
| レシーバユニット重量 | 3.8 g |
| 動作温度 / 湿度 | 0 ~ 45°C / 90%RH (ただし結露なきこと) |
| 保存温度 / 湿度 | -20 ~ 60°C / 90%RH (ただし結露なきこと) |
| 対応電池 | 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形マンガン乾電池、単 3 形オキシライド乾電池、単 3 形ニッケル水素電池 |
| 動作時間 | アルカリ乾電池使用時の目安 連続動作時間: 約 135 時間 連続待機時間: 約 247 日 想定使用可能時間: 約 187 日 (1 日 8 時間のパソコン操作中 25% をマウス操作に割り当てた場合) |

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

[受付時間]
9:00 ~ 19:00
年中無休

保証規定

■保証内容

1.弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

- 以下の場合には、保証対象外となります。
 - 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
 - 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
 - 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 - 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 - 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - その他の、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

- 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
- 弊社修理センターへご送付いただく場合はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
- 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしません。
- 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化したします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 本製品の故障に起因する差生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

■有効範囲

- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

PRUMIE ワイヤレスマウス
MP3DUR シリーズ
ユーザーズマニュアル 2007年11月15日 第2版
エレコム株式会社

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するもの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他本書に記載されている商品名 / 社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

©2007 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.
M51-WU-2

ここに保証書シールをお貼りください。